

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ローゼルこどもDayさぼーと		令和 7年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリーではないが、シンプルな構造で死角が少ないです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		建物の老朽化も進んでいるので、リフォームができるといいかなと思っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3		パニックになった時に気持ちを落ち着ける場所を整えたいと考えております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	4		今後、職員や会社と話し合い改善したいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	年一回の評価を元に改善に努めています。	保護者向けの評価表に「はい」と記入されていないところが多いので、今後は改善して行きたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	管理者を中心に職員と話し合っています。	話し合いはなされていますが、業務改善には至っていないので、見直して行きたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	第三者による外部評価は行なっていませんが、グループの別法人を含め年に一度社内実地指導を行い、業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	3		職員全体の共通理解をさらに深めて行けるように努めていきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	3		以前は共有されていなかったようなので、現在は会議し周知しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3		現在、ツールを用いたアセスメントを使用できるように検討中です。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	児童発達支援管理責任者がガイドラインに沿って計画書を作成しています。	以前の支援内容は具体的なものではなかったので、現在調整ガイドラインに則した支援内容に調整しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	管理者と児童発達支援管理責任者が中心に児童指導員たちと実施しています。	以前は固定化されていましたが、現在は職員がそれぞれ考案し、様々な支援を行なっています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	児童発達支援管理責任者が毎日異なる支援プログラムを計画しています。	以前は固定化されていましたが、現在は職員がそれぞれ考案し、様々な支援を行なっています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	児童発達支援管理責任者が支援プログラムを 準備しています。	職員が大きく入れ替わったので、以前の支援 を見直し、個々にあった支援をして行きたい と思います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。	6		毎日ブリーフィングを実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5		支援終了後には直接打ち合わせ等を行うことはで きていませんが、ツールを用いて共通の認識を持 てるように努めていきたいと思っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか。	4	2		日々の業務が多いですが、支援の検証・改善 のための時間確保に努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	3		職員が大きく入れ替わったので、内容等を見 直し、適切なものへと調整しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こ ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等 の情報共有と相互理解を図っているか。	6		相談支援事業所などと連携し、会議などを 行い情報共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		相談支援事業所などと連携し、会議などを 行い情報共有に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連 携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		日々の業務が多いので、仕事の簡素化を考 えて可能な限り参加したいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ どもと活動する機会があるか。	2	4		今までは外出支援が少なかったので、様々 な場所へ行き交流を深めて行きたいと思 います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や電話などでお伝えしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修 の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族が参加できる機会を設けていきたく と思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	6		契約時に説明させていただいています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護 者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	管理者と児童発達支援管理責任者が中心に対応しています。	児童発達支援管理責任者が入れ替わったので、きちんと面談等を行い、適切な支援ができるように調整中です。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	音楽祭、スポーツフェスティバルなどを開催しています。	事業所単位での保護者会も検討中です。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		事業所便りを定期的に発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫で保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		法人で行なっている音楽祭などに地域の方も招待していきたいと検討中です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3		マニュアルは完備していますが、さらにご家族への周知を徹底していきたいと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年二回の避難訓練を実施しています。	実際の訓練を行なって行きたいと思います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		てんかんの対応など研修を実施していますし、県が発行しているえいぶるノートを活用しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		医師の指示書の提出はないので、アレルギーのある子は個別に保護者へ確認して、自分で取り除けるかなどを聞き取りしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		外出時には安全計画を立てた外出許可を本部へ提出し、支援を行なっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		保護者への周知が不十分なので、周知するようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	3	ヒヤリハットの書式が準備されています。	今までヒヤリハットの内容を話し合う機会が少なかったので、対応策を職員みんなで考えていきたいと思います。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年二回の研修を行なっていますし、行政の行う研修にも申し込みを行なっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		法人で委員会を設けて研修を行なっています。身体拘束は行なっていません。	